

会社の安全最優先は 対外的なスローガン！

会社の安全最優先は、実際運行最優先、利益優先の次ではないか？

休憩時間帯を守れ！乗務員を守れ！

日勤行路で8時間労働に対して、休憩を与えなければならない。しかし、災害時等において全く休憩をさせずにホーム折返しを行い、食事のいとまもなく乗務に就かせています。大変危険な状況です。

安全最優先であれば、休憩は災害時だろうが、ときと場合によって歪められることがあってはならないのです。

年休裁判で要員不足であることが証明されました。要員不足による代替乗務員が確保できないのか、本当は運行優先なのか、運用の技術的な操配の問題なのか、はっきりさせお客様と乗務員の安全を守ることです。

乗務員は、長時間乗務によって疲弊しています。重大事故が起きてからでは遅いのです。何よりも事故に繋がる芽を取り除くことです。

休憩とは、本来労働の疲労に対してのものであり、特に長時間労働が継続されると、乗務員は疲労によって体力、意識低下（集中力低下）、判断力等が弱くなる可能性があり列車運行に危険性があります。だからこそ十分な休憩が必要なのです。しかし、会社は60分（45分）の休憩を与えればということで、勤務退出後に休憩を与えるという暴挙にしています。休憩を軽く考えているということです。このような現状で安全が守られますか。安全は二の次という姿勢です。

退出後の休憩は、本来の休憩とは違う書類上の問題を解消しているだけです。乗務員の体調を考えてない会社の姿勢ということです。

JR 東海会社は真の安全最優先！を糾せ！